

修

研

察

視

## デジタルトランスフォーメーションと 女性消防団

総務常任委員会

委員長

鈴木 利一

副委員長

山崎ふじ子

委員

三瓶 文博

篠崎 聡

影山 初吉

仙台市では、「デジタルで、みんなワクワククススマートシティ」と称し、平成28年3月からICTを効率的で効果的に活用することで、市民サービスの向上を図り、魅力あるまちづくりに取り組んでいきました。そのような中、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、新たな社会に的確に対応していくため、市民や民間業者、大学などの学術研究機関、市役所などが共同で「まちのデジタル化」の実現に向け取り組んでいっています。

(三瓶 文博)



仙台市へ追いつけ



観光地でもデジタル化

宮城県大和町では、女性消防団について研修を受けました。

大和町消防団は昭和30年4月20日1町4カ村が合併したのに伴い発足しました。現在、1本部・5分団で構成されています。女性消防隊員は40名で、ラップ隊の女性は6名です。女性消防団が、平成25年10月17日に横浜で行われた第21回全国女性消防操法全国大会で、優勝したときの動画を視聴しました。大和町の女性消防団員は、全員本部分団所属で、ポンプ操法訓練は、夜の7時過ぎから行われているそうです。男性団員と同等のポンプ操法訓練をしています。実際の火災現場では、後方支援に回り、消火活動はしないそうです。女性団員の応募は、女性団員の推薦によるものが多いとの事でした。当町の女性消防団員は機能別団員で、ラップ隊と広報団員として活動をしていることを、紹介しました。今後の女性消防団活動について考えることがあると思います。

ました。

最後に当町の自主防災会の取り組み、個別避難計画について紹介させていただきました。今回、女性消防団員からお話が伺えなかったのは残念でした。

(篠崎 聡)



活躍している女性消防団員